

自家蛍光気管支鏡を用いたサルコイド病変に対する気管支粘膜生検の有効性に関する研究

1. 研究の対象

2007年3月から2016年3月までにサルコイドーシスの疑いで気管支鏡検査を施行され、気管支粘膜生検を行われた方。

2. 研究目的・方法

サルコイドーシスの診断において、気管支粘膜の生検検査は安全かつ補助的な有用性が示されております。今回の研究では、自家蛍光気管支鏡という特殊光を用いることで、用いない場合と比較・検討して、気管支粘膜の生検検査による診断率向上が得られるかどうかを検討いたします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

気管支鏡で認められた所見、気管支粘膜生検の結果、最終的に診断の決め手になった検査結果等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先/研究責任者：

住所：埼玉県所沢市 3-2 防衛医科大学校

電話：04-2995-1211

所属・氏名：感染症・呼吸器内科 藤倉雄二